

グリーンライフだより

第70号
令和元年11月1日発行
介護老人保健施設
グリーンライフ
施設広報担当

行事報告

2科



9月



9月8日に敬老会を行ないました。敬老のお祝いの色紙を渡し、簡単なゲームを行ないました。参加者からは、たくさんの笑顔が見られ、皆さん楽しまれており、これからも楽しんでいただける行事をたくさん提供していきたいと思ひます。

療養サービス部 2科 石山 拓滋



10月

2科療養フロアーでは、10月20日(日)に毎年恒例の運動会を行ないました。赤組・白組に分かれ「ボール運び」や「カーリング」などを行ないました。いつもは、レクリエーションに参加されないご利用者も一生懸命参加されておられ、職員による「飴食い競走」では、真っ白になった職員の顔を見て大声で笑っておられました。ご利用者の方からは「楽しかったわー」「久しぶりに、こんなに笑った」などの声を頂きました。短い時間ではありましたが、ご利用者の笑顔がたくさんみることができ、楽しい運動会となりました。

療養サービス部 2科 主任 春日 美和



3科



9月は敬老会を行ないました。お祝として色紙を贈呈させていただきました。ゲームに参加していただき、ひと時ではありますが楽しんでいただけたのではないかと思います。

療養サービス部 3科 菱池 良憲

10月20日(日)に運動会を開催しました。昼食は、季節感を感じていただけるようなお弁当をご用意いたしました。毎年恒例の「パン食い競争」をはじめ、色んな種目を行い、ご利用者に楽しんでいただきました。朝晩肌寒くなって参りました。行事を通して季節を感じていただけたと思ひます。

療養サービス部 3科 竹内 千代美

デイケア

9月

9月16日(月)に敬老会を行いました。今年にはビンゴゲームを行い、お祝い品には普段使っている品物を用意いたしました。番号が発表される度にご利用者の皆様は「何番や?」「なかなか当たらんない!」と一喜一憂されていました。やっと番号が揃うと「ビンゴー!」と大きな声で言われ、品物もどれにしようかと笑顔で選ばれていました。

これからは変わらない笑顔で過ごしていただけるように楽しい企画を考え続けます。

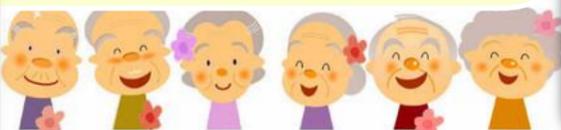
療養サービス部 1科 科長 上田 正



9月末から10月にかけて、画用紙と折り紙で「ぶどうとコスモス」の秋の作品作りを行っています。「何色にしようかな」「どんな風に貼ったらいいの」と意欲的で、職員や他の利用者の方々と楽しそうに話しながら作られていました。出来上がったコスモスを並べると、きれいでかわいいコスモス畑、ぶどうはおいしそうに実っています。

皆様の作品で、ご利用者様と共に秋を感じています。

療養サービス部 1科 佐竹 峰世





2階



11月の行事は映画鑑賞会を予定しております。皆様楽しんでいただけるような作品を上映したいと思います。お楽しみに。

療養サービス部 3科 深澤 渉

11月は、翌月のクリスマスにむけて、飾りや作品づくりを計画しています。皆様と華やかな作品を作れるように考えていますので、楽しみにお待ちください。

療養サービス部 1科 稲田 裕美

11月はプロジェクターを使って映画鑑賞をしたいと思います。昔懐かしい映像を流して、若かりし頃を思い出してもらえればと思います。

療養サービス部 2科 藤田 浩光

3階



12月の行事として柚子湯を皆様楽しんでいただこうと予定しています。冬至の前後入浴日に季節感を感じ、体の芯からあたたまっていただければと思います。

療養サービス部 3科 奈賀野 蘭



デイケア



12月は、毎年恒例の忘年会とビンゴ大会などを予定しています。皆様楽しく笑顔で年越しをしていただけるに企画していますので楽しみに！

療養サービス部 1科 主任 堂菌 由考

12月の行事では、昨年大好評だった『トンちゃん一座』が再び来る予定です。素晴らしい芸や技で、皆さんを驚きと笑いの渦に包んでくれること間違いありません！！ぜひ、楽しみにお待ちください。

療養サービス部 2科 阪部 真実



よつ葉カフェ

認知症の人の世界を理解する

<記憶障害に関する法則>

*認知症の人にとって事実とは「記憶にある事だけ」です。一般的な「物忘れ」とは違い、下記の3つの特徴があります

①記銘力低下

記銘力とは体験した事をすぐに思い出す力の事。認知症の人が同じことを何度も繰り返すのは、記銘力低下によって瞬時に忘れるためです。

②全体記憶の障害

出来事全体を、ごっそり忘れる。例えば、食事したことそのものを忘れてしまう。

③記憶の逆行性喪失

記憶は新しい順に忘れていく。認知症の人にとっての「現在」は「最後の記憶の時点」である。例えば20歳以降の記憶が無く若い頃に戻っているなど。



認知症ケア専門士 春日 美和



9月22日(日)第38回よつ葉カフェを開催しました。今回は敬老企画「歌って笑って認知症予防」をテーマに、ゲーム・歌・体操・クイズなどを実施しました。

4~5名の代表者が身振りや手ぶりで人物や動物などの例題を伝えていくジェスチャー伝言ゲームでは各人の動きの面白さに大爆笑の波が起こり、とても盛り上がりました。また、秋の動揺を歌ったり、「お座敷小唄」を認知症予防の内容にした替え歌を歌ったりしました。他にも、「高原列車は行く」に合わせた体操や長寿のお祝に関するクイズなど、盛りだくさんの内容でした。

療養サービス部 1科 上田 正



消防・避難訓練を行いました

職員紹介

10月18日(金)午後2時より消防避難訓練を行いました。今回は夜間に3階談話室より出火を想定した訓練でした。記憶にも新しい京都アニメーションの惨事もあり、職員もいつも以上に真剣に訓練に取り組みました。また、訓練の後には消火器の使用体験も行い、こちらも積極的に取り組んでくれました。消防局の方からは煙対策として耐熱性のポリ袋に空気を溜め、それを頭からかぶり、空気が漏れないよう口を絞ることで約3分ほど新鮮な空気を吸いながら移動することが出来るというとても有益な情報をいただきました。事件や災害はいつ起こるかわかりません。これからもいざという時に、迅速に行動できるよう、年2回の訓練を続けていきます。

事務サービス部 主任 寝占 雄一



療養サービス部 2科
看護師
田中 佐幸
(新入職)



療養サービス部 3科
主任 介護福祉士
村上 剛
(療養サービス部 2科より異動)



療養サービス部 3科
介護福祉士
中居 啓子
(療養サービス部 1科より異動)



療養サービス部 2科
介護福祉士
高垣 輝正
(療養サービス部 3科より異動)



袋を両手で持ち、上下に振って中にたくさん空気を入れます。



① 袋を頭からかぶり、手前に引いて口を絞って片手で持ちます。
② 持った手を胸につけて空気を漏らさないようにします。

